

僕はあなた…

あなたは…僕

---

これは

もう一つの世界の

あなたの話……

# 亦女能心家家族物語

#0 母・美也子と僕の関係

ああ……なんか今日は……  
ムズムズする……

無性に勃起し……  
性欲を発散したくなる……

そんな時が  
誰にでもあるはずだ

そんな時…  
他のみんななら  
どうするだろうか…

おかずを探して  
自分で慰める…？

恋人がいれば  
その女性に助けを  
求める…？


僕の場合――

そのどちらでもない



僕ならそんな時は  
まず母親を呼出すー


そして二人で  
ラブホテルに行くのだ



母親を……  
一人の女性として  
見るようになってから

どれくらい経つ  
だろうか……






いつしか—  
僕たちは男女としての  
過ちを犯し—…

こうして…家族の目を  
盗んで…逢瀬を—…

だが…母親の方は  
未だ完全には受け入れられないようで…

ね…ねえ●●ちやん…  
も…もう止めましょう

こ…こんなこと…  
ほんとはイケナイわ…



イケナイこと…だと  
いうのはわかってる…

今でも…母親としての  
彼女を思うと…こうして  
いるのが信じられない…

だが…

か…母さん…  
こ…こ…ち…ち…か…お…お…お…

……っ

ぼ…僕もう…  
堪らないんだ…っ

A woman with long, dark, wavy hair and a green top is shown from the chest up. She has a distressed expression, with sweat drops on her face and a slightly open mouth. The background is a dark, warm-toned night scene with a wooden fence and a glowing light source in the sky.

もう……

「仕方ないわね……」  
と言わんばかりの……  
諦めにも似た表情で  
しぶしぶ従う母……

あ…あのね…  
ちよつと聞いて！

こういうのって  
イケナイことなの…  
ほんとに…

き…**近親相姦**…  
って…のよ…

最近になつて  
母が僕に対して  
よく使うようになった  
言葉――

「近親相姦」

僕に自分たちの  
している行為の  
現実を知らしめて……  
思いとどまらせようと  
しているらしいが

……

やつ……！  
あつ……！

く……くすぐ  
つた……い……っ

びくっ！  
さわ……

さわ……

やつてはいけない  
禁忌な行為であること  
くらい……わかってる……

わかってるけど……





ああ…キレイだ…  
母さん…

若くして僕らを産んだ  
母さんは…まだ  
女の色香を残してる…

A close-up illustration of a woman's face, focusing on her eyes and nose. She has long, dark hair and is looking slightly to the right. A speech bubble is positioned near her eye.

まだ全然女として  
通用するよ……

……

こんな人が  
一つ屋根の下で  
暮らしてたら……  
近親相姦だとしてたつて  
僕は……

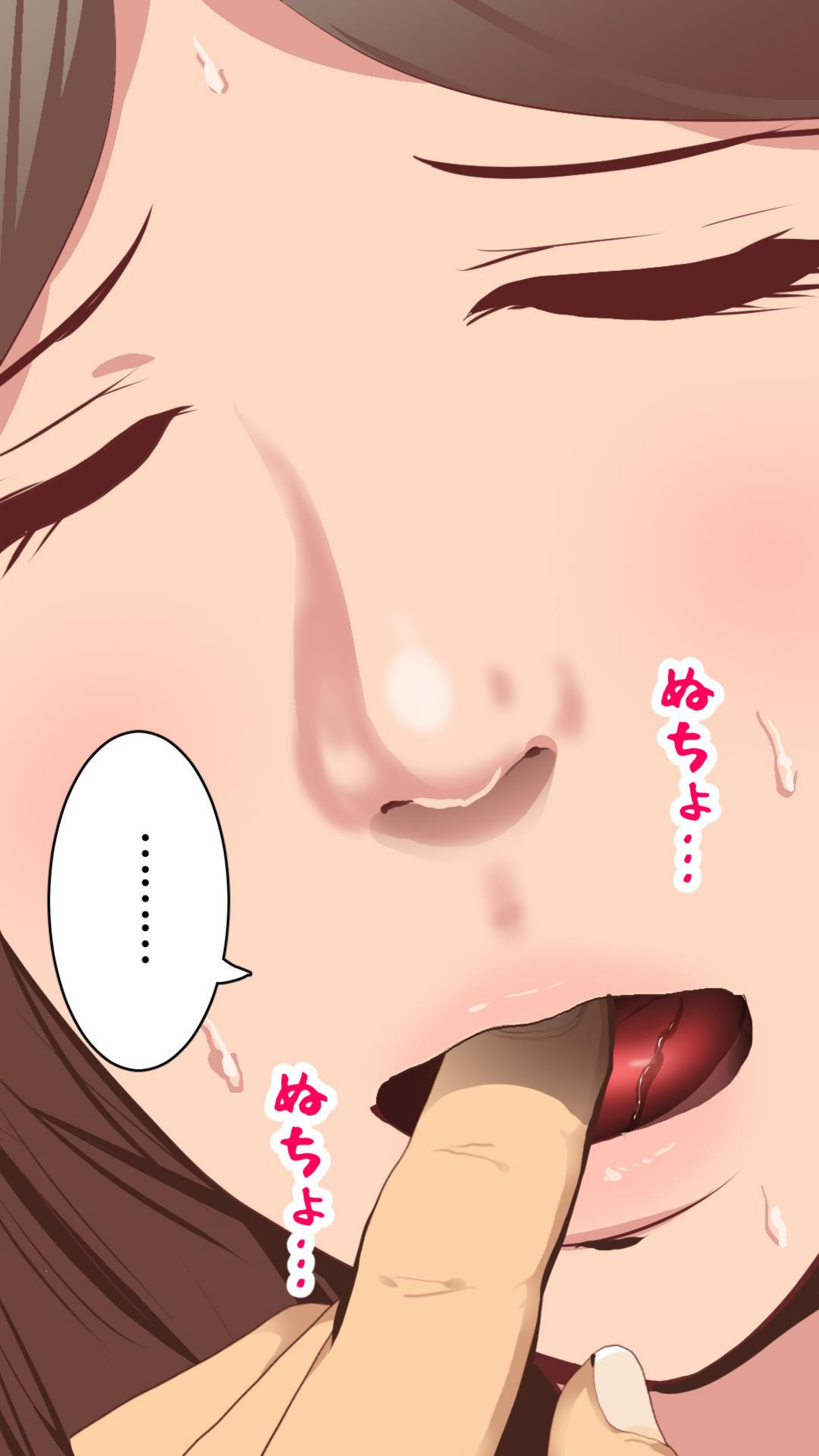
.....  
!

始ち.....

始ちよ……

始ちよ……

……



口では  
ダメって  
言いながら…

……

指を入れると…  
舐めてくれる  
母…

ぬちよ…

ぬちよ…



理性では戸惑い…  
迷いながらも…

ぬぷっ

ちゅぶっ

ちゅぶっ

身体はもう…  
僕を男として  
受け容れる習慣が  
出来上がってる…

……

ああ……すごい……

チンポ舐められてる

みたいだよ……

母さん……

……

僕の卑猥な問いかけに…

一瞬止まったけど…

また舌を出して…

僕の指を舐め始める

母さん…

ぬちよ…

ぬちよ…






ああ……うららら……

ぬちゅ……

すっごく  
イヤらしい  
顔になってるよ  
母さん……

ぬちゅ……



普段の家での母さんの  
イメージからは  
想像できない…

父さんは勿論…  
涼美姉や美玲が  
知ったら母さんを  
軽蔑するだろうな…

僕だけが知っている…

ぬちよ…

ぬちよ…

母さんが  
僕の前でだけ  
こんなに女っぽい  
顔をするって  
ことを…



だ…だめよ…

お…お願い…やめて  
母子でキスなんて…

だが構わず  
顔を近づける僕—

だ…だめよ…

あ…んんっ

ぬちよ…

ぬちよ…

そうすれば…彼女は  
受け容れてくれると  
わかってるから

だ…だめよ…

ぬちよ…

ぬちよ…

ああ…んっ

今にも堕ちそうな  
諦めの表情で  
舌を…絡ませて  
受け容れていく母…

**体験版はここまでです**

**続きはぜひ本編でお楽しみください**